

防災士養成研修の講師派遣

本会は島根県防災部防災危機管理課より防災士養成研修における講師の派遣依頼を受けた。防災士とは防災の意識・知識・技能を持っている人に認定される資格であり、全国に約20万人いる。依頼の課目は「自主防災活動と地区防災計画」であった。

研修は令和4年5月14～15日の2日間にわたり行われ、筆者が担当したのは2日目の午後の一コマである。受講者はコロナ禍により制限されているが、県下全域より54名（うち女性11名）、最年少は19歳の学生から最年長は74歳の会社員までの老若男女であった。この研修は有料であり、研修の終わりには試験があって、それに合格しなければならないので受講者は皆真剣である。

講習は次のように進めた。

- ・日本人には防災は行政がやるものとの認識がある。しかし公助にも限界がある。
- ・助け合いの精神で災害を乗り越えるための組織づくりが必要とされている。
- ・自主防災組織には避難訓練等、災害に備え活動のルール化が求められる。

筆者は受講者の眠気防止のため身近な話題を用いて説明したつもりである。たとえば、避難行動のルールづくりでは落語の番町皿屋敷を引き合いに、お菊さんの三枚の声を聞くと散らかした弁当がらを片付け、四枚で風呂敷を背負い、五枚でわらじの紐を締め直し…などやった。しかし会場の反応はいま一つだった。

帰りの車では、「あのくだりは話し手にテレがあったからウケなかった」等のダメ出しを木佐会長からいただき、落語家の師匠と弟子のような反省会がおこなわれた。

（長嶺元二）

令和4年度島根県防災士養成研修会 日程

日時：令和4年5月14日（土）～15日（日）
会場：いわみーる（浜田市野原町1826-1）

5月14日（1日目）			
	9:00～10:00	会場準備	
	10:00～	受付	
	10:10～10:20	オリエンテーション	
1時限目	10:20～14:20 (昼休憩含む)	救急救命講習	「防災士に期待される活動」 「被害想定とハザードマップ」 「防災士が行う各種訓練 ～災害図上訓練～」 NPO法人日本防災士会 宮永 正稔 理事
2時限目			
3時限目			
4時限目	14:30～17:30	「防災士に期待される活動」 「被害想定とハザードマップ」 「防災士が行う各種訓練 ～災害図上訓練～」 NPO法人日本防災士会 宮永 正稔 理事	救急救命講習
5時限目			
6時限目			

5月15日（2日目）			
	9:10～	受付	
1時限目	9:30～10:30	「地震・津波による災害～地震のしくみと被害～」 島根大学総合理工学部 向吉 秀樹 准教授	
2時限目	10:40～11:40	「地震・津波による災害～津波のしくみと被害～」 島根大学総合理工学部 酒井 哲弥 教授	
	11:40～12:40	休憩	
3時限目	12:40～13:40	「土砂災害～土砂災害と対策～」 島根大学総合理工学部 小暮 哲也 准教授	
4時限目	13:50～14:50	「気象災害・風水害～風水害と対策～」 島根大学エスチュアリー研究センター 矢島 啓 教授	
5時限目	15:00～16:00	「自主防災活動と地区防災計画」 島根県技術士会 長嶺 元二 副会長	
6時限目	16:10～17:10	「災害関連情報と予報・警報」 松江地方気象台	
	17:30～18:30	試験	

